

令和 2 (2020) 年度 東京大学地震研究所共同利用研究集会

「固体地球の多様な波動現象へのアプローチ：

多量データ解析と大規模計算を両輪に」

日時：2020 年 12 月 21 日 (月) ・ 22 日 (火)

会場：オンライン開催

発表時間：口頭発表 20 分 (発表 15 分、質疑応答 5 分)

口頭短縮 (フラッシュトーク) 発表 (発表 3 分、質疑応答 2 分)

フラッシュトーク発表は※で表示

開催後に発表動画配信のある発表は★を表示

2020 年 12 月 21 日 (月)

13:00 はじめに

古村孝志 (東大地震研)

【座長 江本賢太郎】

13:10 S20-01 東北地方プレート境界付近の地震の広帯域レコードセクションに現れる変換波

★

小菅 正裕 (弘前大)

13:30 S20-02 差分法を用いたスカラー波の weak localization のシミュレーション (2)

★

佐藤 雅将・河原 純 (茨城大)

13:50 S20-03 互層構造中の 2 次元スカラー波の伝播特性

★

城戸口 和希・河原 純 (茨城大)

14:10 S20-04 ランダムに分布するクラック群を伝播する SH 波の伝播の考察

★

佐藤 春夫 (東北大)

14:30-14:50 休憩 20 分

【座長 竹尾明子】

14:50 S20-05 PL 波を用いた大地震の震源深さと津波早期予測の可能性

★

大須賀 啓士・古村 孝志 (東大地震研)

15:10 S20-06 短周期 OBS 波形を用いたモーメントテンソル推定への試み

山谷 里奈・望月 公廣・悪原 岳 (東大地震研)

- 15:30 S20-07 Kalman フィルタを用いた津波即時把握：海底水圧・加速度記録による海底変位と津波波高の同時推定
★ 水谷 歩・蓬田 清（北海道大）
- 15:50 S20-08 津波即時予測実験のための現実的全波動数値シミュレーション
★ ヨン 前田 拓人（弘前大）・齊藤 竜彦（防災科研）・馬場俊孝（徳島大学）

16:10-16:30 休憩 20 分

【座長 廣瀬郁】

- 16:30 S20-09 遠地地震に対する関東堆積盆地の S 波応答特性：周期および地震基盤深度依存性
★ 中川 結絵・吉本 和生（横浜市大）・武村 俊介（東大地震研）
- 16:50 S20-10 ウェーブレット変換による南海トラフ西部におけるプレート境界面の面粗さの推定
★ 高橋 努・仲西 理子・小平 秀一（JAMSTEC）・金田 義行（香川大）
- 17:10 S20-11 南海トラフにおける浅部スロー地震と流体移動の関係
利根川 貴志（JAMSTEC）・武村 俊介（東大地震研）・矢部 優（産総研）・蓬田 清（北海道大）
- 17:30 S20-12 海底地震計データを使った浅部微動のエネルギー推定
※ ★ 馬場 慧・武村 俊介・小原 一成・竹尾 明子（東大地震研）・山下 裕亮（京大防災研）
- 17:35 S20-13 Frequency Dependency of Peak Energy Ratio at the Hi-net Stations using Teleseismic P Wave Data
※ ★ Gugi Ganefianto, Hisashi Nakahara, and Takeshi Nishimura (Tohoku Univ.)

18:00 懇親会

2020 年 12 月 22 日（火）

【座長 久保田達矢】

- 13:00 S20-14 ハワイ島 East Rift Zone 中部における S 波コーダ Q の時間変化（2009-2015 年）
※ ★ 山田 卓司（茨城大）・Paul G. Okubo（ハワイ大）
- 13:05 S20-15 海域地震波干渉法における Love 波高次モードの影響の定量化
※ ★ 竹尾明子（東大地震研）

- 13:10 S20-16 稠密海底地震計アレイによる浅部 S 波速度構造の高解像度
 ※ ★ 推定：日向灘の例
 悪原 岳（東大地震研）・
 山下 裕亮・大柳 修慧・佐脇 泰典（京大防災研）・
 山田 知朗（気象庁）・篠原 雅尚（東大地震研）
- 13:15 S20-17 Hi-net データを用いた地震波速度変化の潮汐応答の推定
 ※ ★ 高野 智也・西田 究（東大地震研）
- 13:20 S20-18 ランダム媒質中の地震波走時のゆらぎー指数関数型ランダム媒質中の P 波走時のゆらぎー
 ※ ★ 吉本 和生（横浜市大）、武村 俊介（東大地震研）
- 13:25 S20-19 Po/So 波伝播特性から推定される北西太平洋のリソスフェアの不均質構造の方位変動と高周波数地震動の導波特性
 ※ 古村 孝志（東大地震研）・
 ブライアン ケネット（ANU）
- 13:30 S20-20 S-net データを用いた東北日本前弧海域における常時微動トモグラフィー
 ★ 高木 涼太（東北大）・西田 究（東大地震研）
- 13:50 S20-21 地震波干渉法により抽出した特異なレイリー波（Scholte waves）の V/H を用いた S-net 浅部構造の推定
 ★ 福島 駿・蓬田 清（北海道大）
- 14:10 S20-22 データ同化を導入した地震波逆伝播計算による地震断層すべり分布推定の数値実験
 ★ 柴田 勇吾・古村 孝志（東大地震研）・
 前田 拓人（弘前大）

14:30-14:50 休憩 20 分

【座長 悪原岳】

- 14:50 S20-23 光ファイバーケーブルを用いた DAS による短波長不均質推定に向けて
 ★ 江本 賢太郎・中原 恒・西村 太志・山本 希・
 寒河江 皓大・Gugi Ganeanto・矢武 克啓（東北大）
- 15:10 S20-24 光ファイバーケーブルと DAS を用いた吾妻山の浅部地盤増幅特性の推定
 ★ 西村 太志・江本 賢太郎・中原 恒・三浦 哲・山本 希・
 杉村 俊輔・石川 歩（東北大）・
 木村 恒久（シュルンベルジェ）
- 15:30 S20-25 SPAC 法の歪・回転・傾斜への拡張
 ★ 中原 恒・江本賢太郎・西村太志（東北大）
- 15:50 S20-26 「歪み波形地震学」事始：DAS データをそのまま使おう
 ※ 蓬田 清・野城 佑基・伊藤 俊哉（北海道大）

15:55-16:15 休憩 20 分

【座長 高野智也】

- 16:15 S20-27 ★ 震源直上海底水圧記録に含まれる地震動成分と津波成分の分離－2011 年東北地震の震源直上の地震動
久保田 達矢・齊藤 竜彦 (防災科研)・
対馬 弘晃 (気象研)・
日野 亮太・太田 雄策・鈴木 秀市 (東北大)・
稲津 大祐 (東京海洋大)
- 16:35 S20-28 ★ 海面の気圧変化による津波の発生 : 海底水圧計で気象津波は計測することはできるか?
齊藤 竜彦・久保田 達矢・近貞 直孝 (防災科研)・
田中 裕介 (JAMSTEC)・三反畑 修 (防災科研)
- 16:55 S20-29 ※ ★ 地震波振幅を用いた相対震源決定法 : 雌阿寒岳で発生した火山性地震と微動への適用
小木曾 仁 (気象研)・蓬田 清 (北海道大)
- 17:00 S20-30 ※ ★ 浅部微動の震源時間関数のエンベロープインバージョン
武村 俊介 (東大地震研)・矢部 優 (産総研)・
江本 賢太郎 (東北大)・馬場 慧 (東大地震研)
- 17:05 S20-31 ※ ★ 地震波干渉法に基づき推定した日本の 17 火山における地震波の散乱・内部減衰パラメータ
廣瀬 郁・上田 英樹・藤田 英輔 (防災科研)

17:10 連絡事項